

# 獣医師法第22条の獣医師の 届出状況について

令和8年3月

# 獣医師の活動分野

例年と同じく、全国から約4万件の届出があり、産業動物獣医師（産業動物診療と公務員のうち農林水産分野の合計）は約2割、小動物診療は約4割であった。

## 獣医師が活動する様々な分野

## 分野別獣医師の数

(単位:人)

- ① 産業動物診療  
家畜や家きん(産業動物)の診療に従事
- ② 公務員  
家畜伝染病の予防やまん延防止などの農林水産分野、食肉検査などの公衆衛生分野、動物の愛護・管理などに従事
- ③ 小動物診療  
犬、猫等のペットの診療に従事
- ④ その他の分野  
大学の教員、動物用・人体用医薬品の開発、海外技術協力などに従事
- ⑤ 獣医事に従事しない者(無職含む)

		令和6年	割合 (%)	
活動獣医師	産業動物診療	4,312	10.9	
	公務員	農林水産分野	3,117	7.9
		公衆衛生分野	5,053	12.7
		その他	463	1.2
	小動物診療	16,717	42.1	
	その他の分野	5,757	14.5	
	小計	35,419	89.3	
獣医事に従事しない者 (無職含む)		4,245	10.7	
合計		39,664	100	

【獣医師法第22条に基づく届出による】

# ① 獣医師法第22条の届出 (地域別分布)

○ 産業動物獣医師は畜産が盛んな地域、小動物診療獣医師は大都市圏に多く分布

## 獣医師合計

0 2,000 4,000 6,000



## 産業動物診療

人 0 1,000 2,000



## 小動物診療

人 0 1,000 2,000 3,000



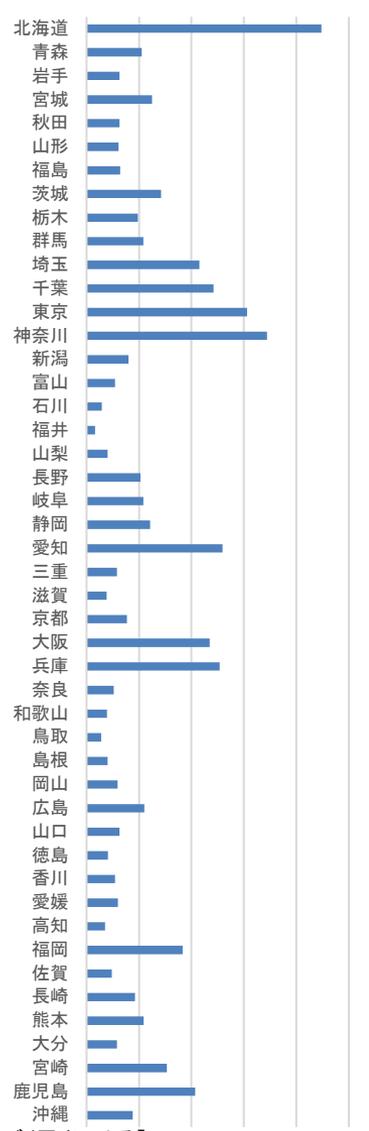
## 都道府県・市町村公務員 (農林水産分野)

人 0 100 200



## 都道府県・市町村公務員 (公衆衛生分野・その他)

人 0 100 200 300 400 500



## ②獣医師法第22条の届出(前回届出との比較)

- 令和4年に比べ、届出総数は約800人(2%)減少。
- 小動物診療に従事する者が増加した一方で、他分野に従事する者は減少。公務員の減少率が高い。
- 3人に1人は女性獣医師。

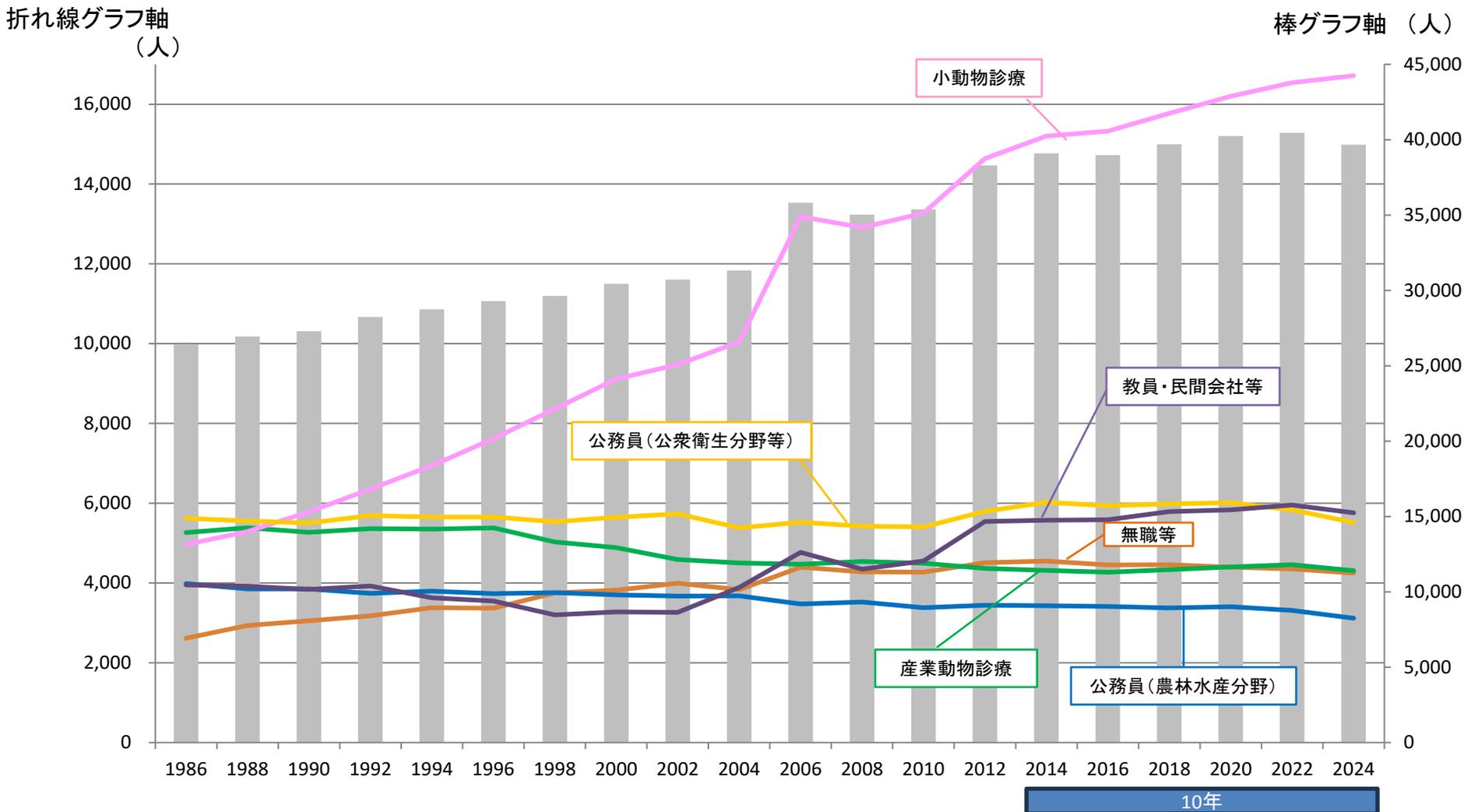
	令和4年					令和6年						
	計	うち男性		うち女性		計 人 (対4年増減比)	うち男性		うち女性		うち無回答※	
	人	人	構成比	人	構成比		人	構成比	人	構成比	人	構成比
公務員 (農林水産分野)	3,311	1,977	59.7%	1,334	40.3%	3,117 (▲5.9)	1,731	55.5%	1,203	38.6%	183	5.9%
公務員 (公衆衛生等)	5,834	3,135	53.7%	2,699	46.3%	5,516 (▲5.5)	2,799	50.7%	2,394	43.4%	323	5.9%
産業動物診療	4,460	3,593	80.6%	867	19.4%	4,312 (▲3.3)	3,333	77.3%	878	20.4%	101	2.3%
小動物診療	16,541	10,471	63.3%	6,070	36.7%	16,717 (1.1)	10,025	60.0%	6,162	36.9%	530	3.2%
教員、民間会社 等	5,955	3,922	65.9%	2,033	34.1%	5,757 (▲3.3)	3,519	61.1%	2,007	34.9%	231	4.0%
無職等	4,354	3,222	74.0%	1,132	26.0%	4,245 (▲2.5)	3,011	70.9%	1,144	26.9%	90	2.1%
<b>届出者合計</b>	<b>40,455</b>	<b>26,320</b>	<b>65.1%</b>	<b>14,135</b>	<b>34.9%</b>	<b>39,664</b> <b>(▲2.0)</b>	<b>24,418</b>	<b>61.6%</b>	<b>13,788</b>	<b>34.8%</b>	<b>1,458</b>	<b>3.7%</b>

※都道府県からの要望を踏まえ、令和6年より性別の回答が任意となった

【獣医師法第22条に基づく届出による】

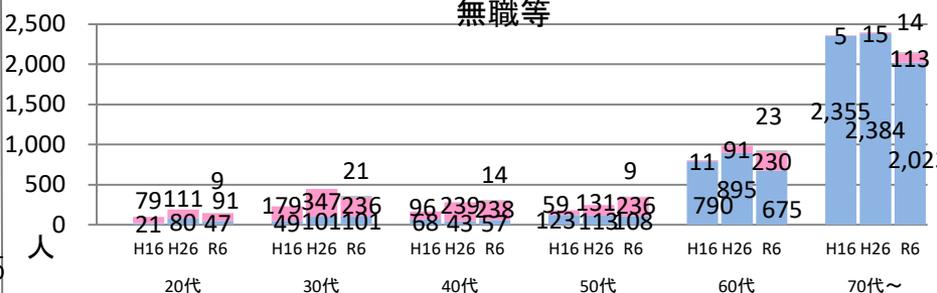
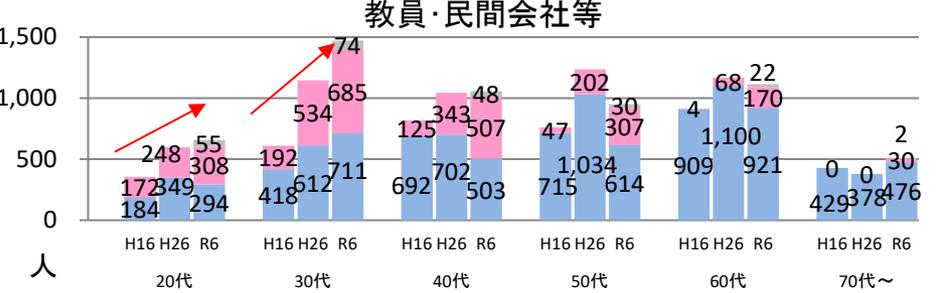
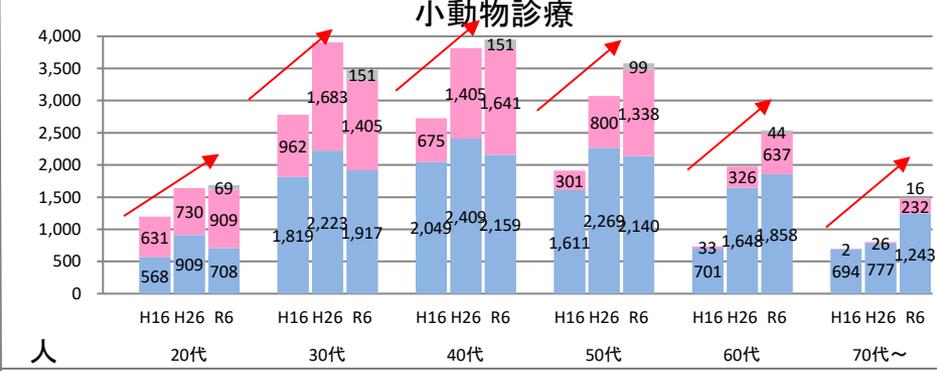
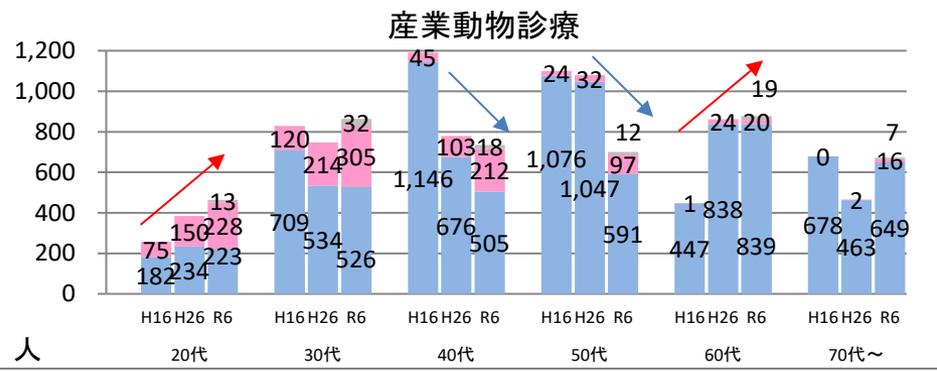
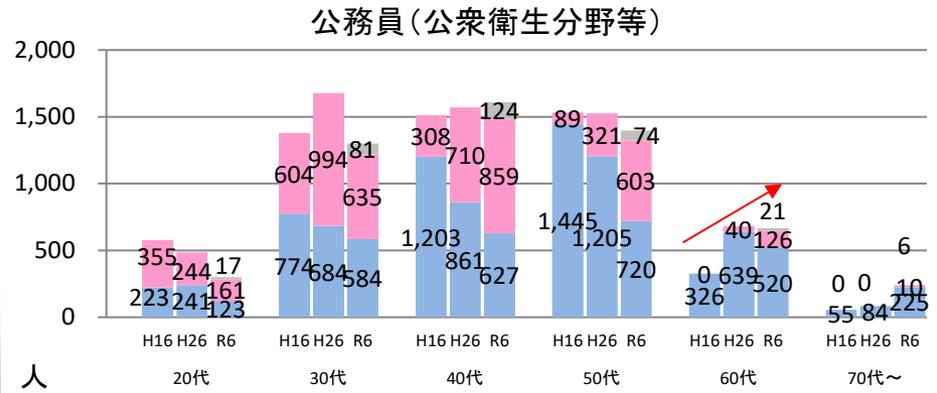
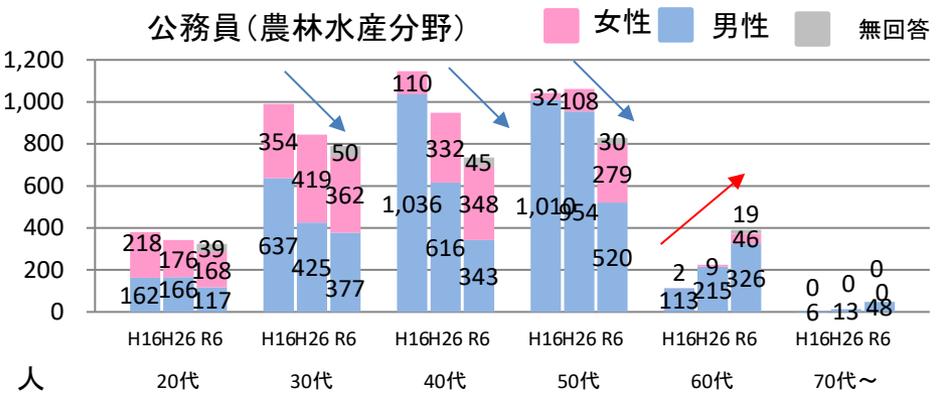
### ③ 獣医師法第22条の届出(届出数の推移)

- 届出総数はここ10年、約4万人前後で横ばい。
- 小動物診療分野は、増加傾向で推移。
- その他の産業動物分野(産業動物診療及び公務員(農林水産分野))等は、ほぼ横ばいから微減で推移。



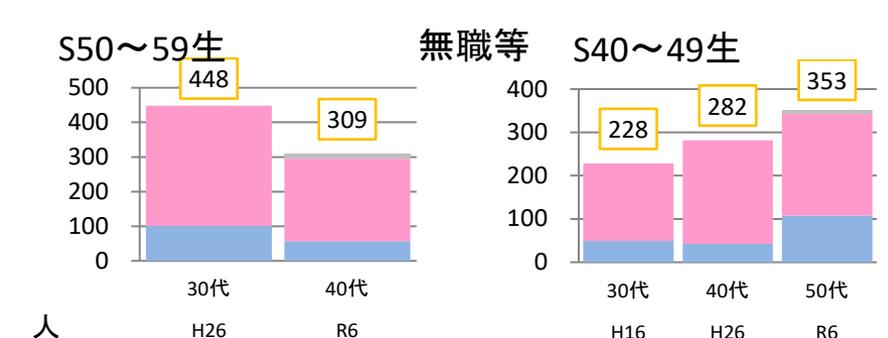
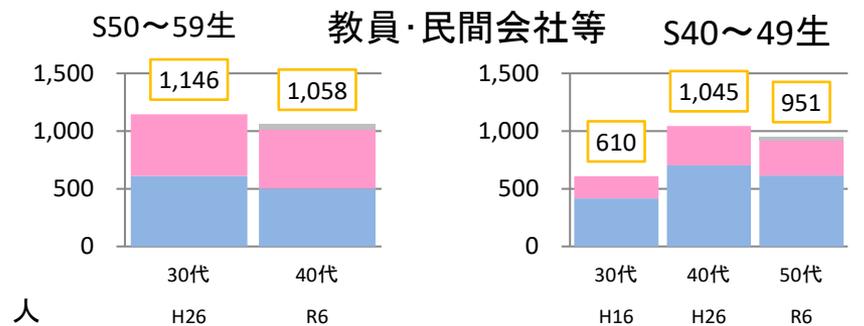
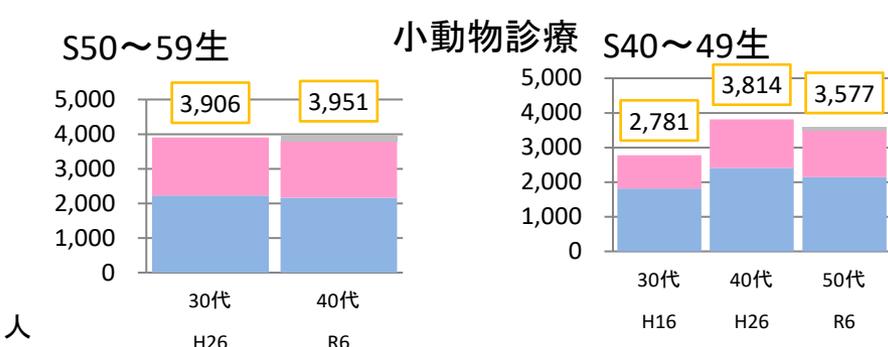
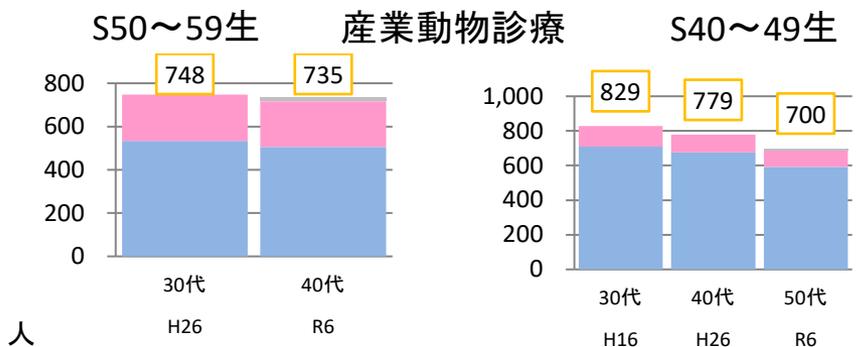
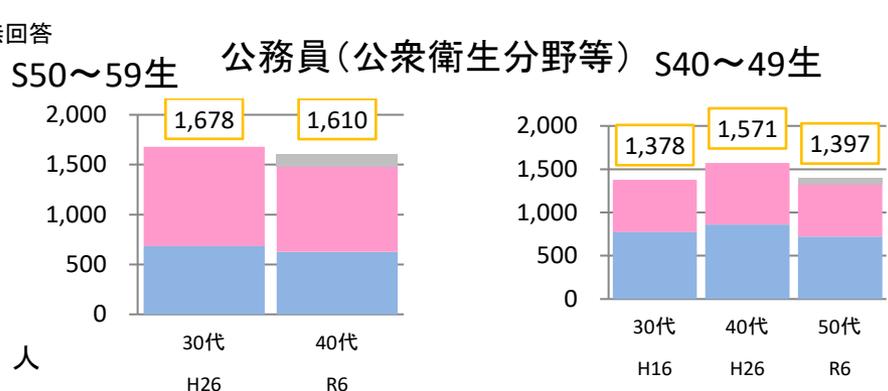
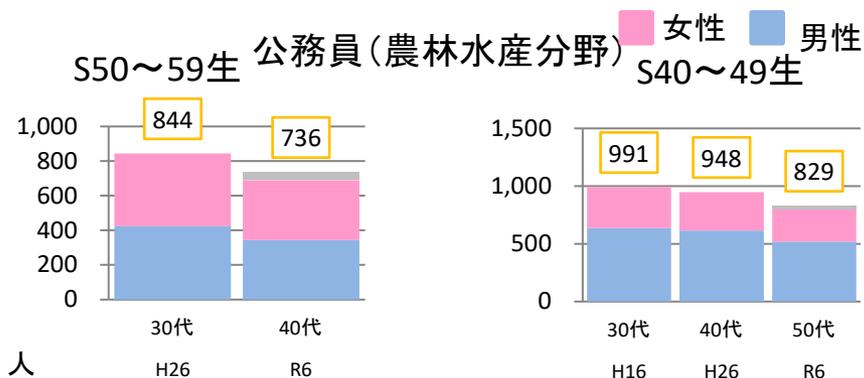
# ④獣医師法第22条の届出(活動分野ごとの年代分布)

- 20年間の全体的な傾向として、60代の就労者が増加傾向。
- 産業動物獣医師(公務員(農林水産分野)及び産業動物診療)は、40~50代が減少傾向。公務員(農林水産分野)は定年延長の60代で人員確保。産業動物診療は20代と60代が増加。 → 若手の確保だけではなく、40~50代の離職を食い止めることが必要。
- 公務員(公衆衛生分野等)は40~50代はほぼ横ばいか微減にとどまる。また40・50代の女性割合が増加し、R6届出では4割以上が女性。
- 小動物診療はどの年代でも増加。教員・民間会社等は特に30代が増加。 → 獣医師の職域が拡大していると考えられる。



# ⑤ 獣医師法第22条の届出(出生年代による活動分野の分布)

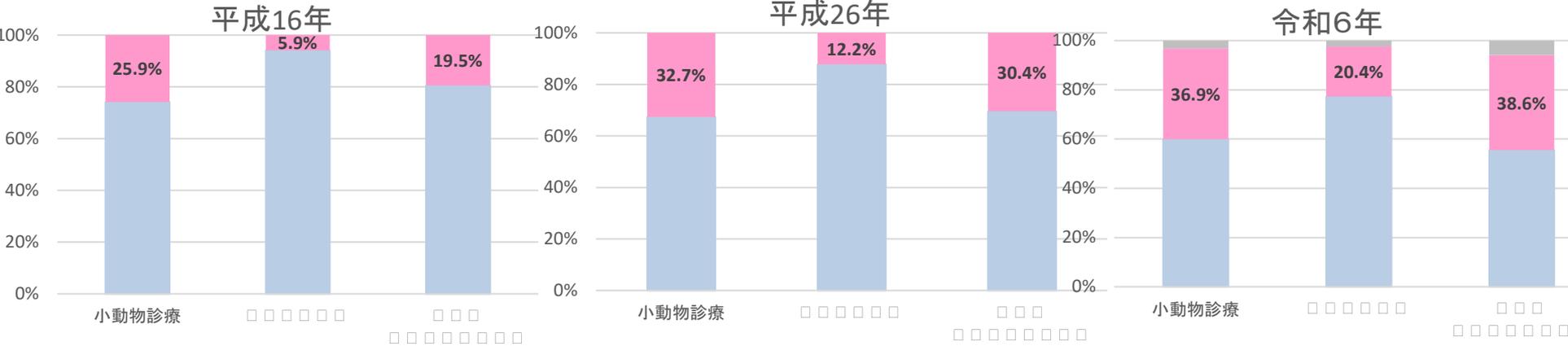
- 公務員(農林水産分野)では、昭和50年代生まれ(H26届出で30代、R6届出で40代の者)、昭和40年代生まれ(H16届出で30代、H26届出で40代、R6届出で50代の者)ともここ10年で大幅に減少。
- 産業動物診療は、昭和50年代生まれが微減。昭和40年代生まれはここ10年で大幅に減少。
- 無職等獣医事に従事しない者が昭和40年代生まれのR6届出(50代)で増加。  
→ 職場復帰・再就職しやすくなるような研修の実施に対する支援の継続が効果的である可能性がある。



# ⑥ 獣医師法第22条の届出(活動分野別男女比の推移)

- 年齢層が若くなるにつれて女性比率が上昇。
- R6届出では、小動物診療、公務員獣医師(農林水産分野)に占める女性の割合は約4割。
- R6届出では、産業動物診療分野は約2割と低いが、20年前の約6%、10年前の約12%からは着実に上昇。  
→ 女性獣医師に選択されるような職場環境整備等の取り組みが引き続き必要。

獣医事に従事する獣医師の男女比  
活動分野別男女比



年代別男女比 (全活動分野)

